

景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

Webによる無記名アンケート方式
調査時点 令和6年3月1日発送
令和6年3月15日回答期限
調査対象 信用保証利用先3,000企業
有効回答数 342 企業(回答率 11.4%)

※ 当期:R06年1月～3月実績見込
次期:R06年4月～6月期予測

【DI値について】

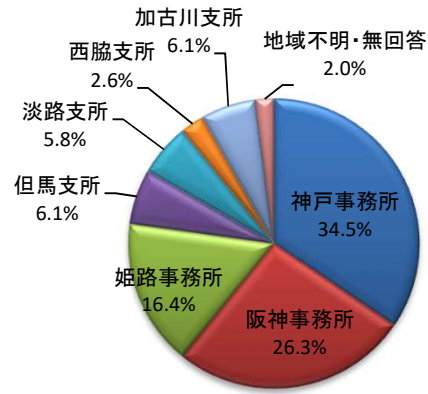
- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

I. 貴社の概要について

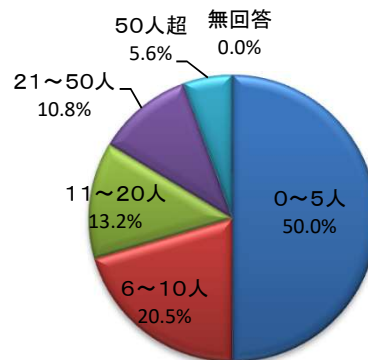
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	118	34.5%
阪神事務所	90	26.3%
姫路事務所	56	16.4%
但馬支所	21	6.1%
淡路支所	20	5.8%
西脇支所	9	2.6%
加古川支所	21	6.1%
地域不明・無回答	7	2.0%
合計	342	100.0%



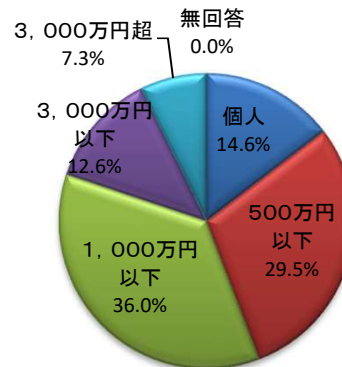
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	171	50.0%
6～10人	70	20.5%
11～20人	45	13.2%
21～50人	37	10.8%
50人超	19	5.6%
無回答	0	0.0%
合計	342	100.0%



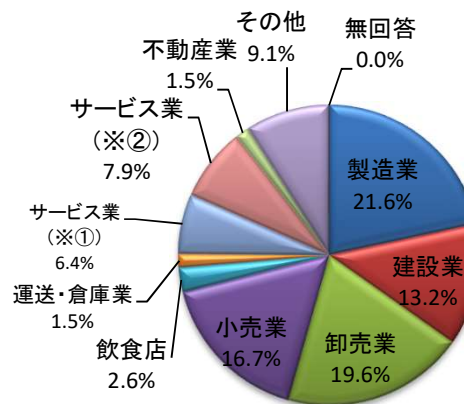
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	50	14.6%
500万円以下	101	29.5%
1,000万円以下	123	36.0%
3,000万円以下	43	12.6%
3,000万円超	25	7.3%
無回答	0	0.0%
総計	342	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	74	21.6%
建設業	45	13.2%
卸売業	67	19.6%
小売業	57	16.7%
飲食店	9	2.6%
運送・倉庫業	5	1.5%
サービス業(※①)	22	6.4%
サービス業(※②)	27	7.9%
不動産業	5	1.5%
その他	31	9.1%
無回答	0	0.0%
合計	342	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

- (1) 当期(24年1~3月期)は、前期(23年10~12月期)に比べどのような状況ですか。
- (2) 次期(24年4~6月期)は、当期(24年1~3月期)に比べどう思いますか。

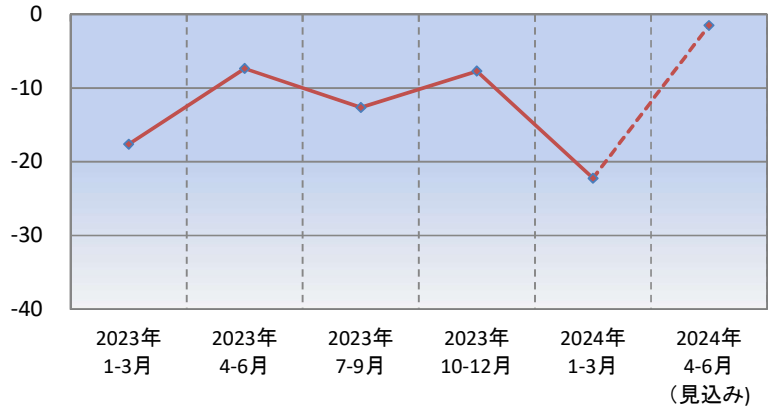
【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	70	20.5%
変わらない	126	36.8%
減少した	146	42.7%
無回答	0	0.0%
総計	342	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	99	28.9%
変わらないと思う	139	40.6%
減少すると思う	104	30.4%
無回答	0	0.0%
総計	342	100.0%



生産・売上DI(増加-減少)

調査時期 (実績)	2022年 1~3月	2022年 4~6月	2022年 7~9月	2022年 10~12月	2023年 1~3月	2023年 4~6月	2023年 7~9月	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月 (見込み)
兵庫県	▲ 38.8	▲ 13.2	▲ 12.6	▲ 6.3	▲ 17.6	▲ 7.3	▲ 12.6	▲ 7.7	▲ 22.2	▲ 1.5

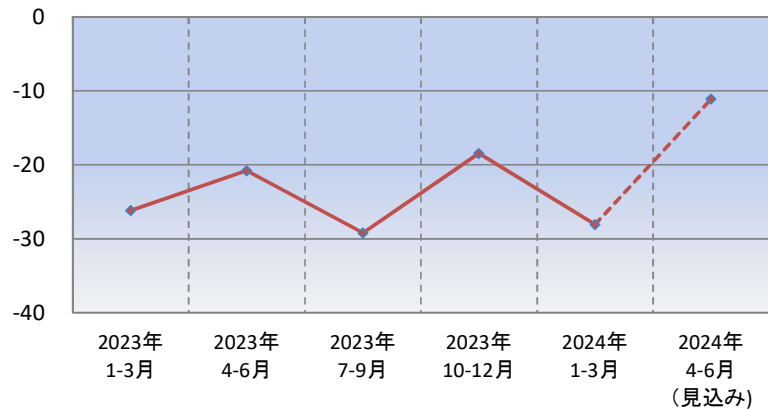
【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	39	11.4%
変わらない	168	49.1%
悪化した	135	39.5%
無回答	0	0.0%
総計	342	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	59	17.3%
変わらないと思う	186	54.4%
悪化すると思う	97	28.4%
無回答	0	0.0%
総計	342	100.0%



採算DI(好転-悪化)

調査時期 (実績)	2022年 1~3月	2022年 4~6月	2022年 7~9月	2022年 10~12月	2023年 1~3月	2023年 4~6月	2023年 7~9月	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月 (見込み)
兵庫県	▲ 45.4	▲ 30.3	▲ 27.8	▲ 25.0	▲ 26.2	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 18.5	▲ 28.1	▲ 11.1

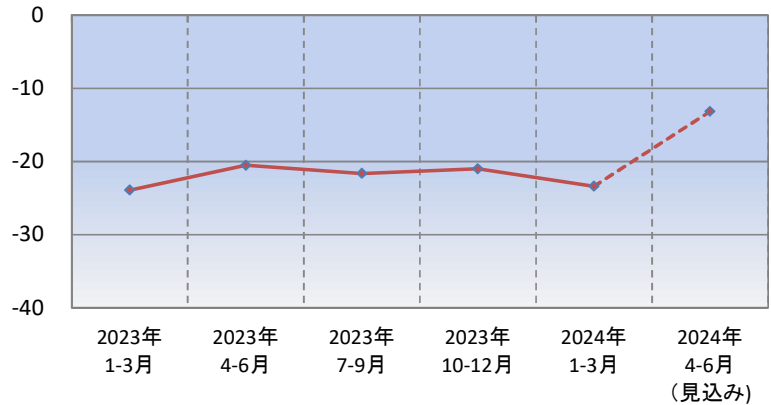
【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	34	9.9%
変わらない	194	56.7%
悪化した	114	33.3%
無回答	0	0.0%
総計	342	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	35	10.2%
変わらないと思う	227	66.4%
悪化すると思う	80	23.4%
無回答	0	0.0%
総計	342	100.0%



資金繰りDI(好転-悪化)

調査時期 (実績)	2022年 1~3月	2022年 4~6月	2022年 7~9月	2022年 10~12月	2023年 1~3月	2023年 4~6月	2023年 7~9月	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月 (見込み)
兵庫県	▲ 32.8	▲ 23.0	▲ 23.2	▲ 24.5	▲ 23.9	▲ 20.5	▲ 21.6	▲ 21.0	▲ 23.4	▲ 13.2

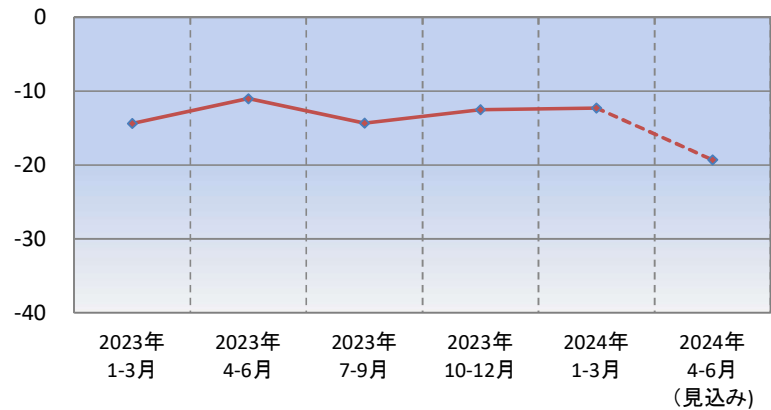
【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	22	6.4%
変わらない	256	74.9%
難しくなった	64	18.7%
無回答	0	0.0%
総計	342	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	12	3.5%
変わらないと思う	252	73.7%
難しくなると思う	78	22.8%
無回答	0	0.0%
総計	342	100.0%



借入難易感DI(容易-難しい)

調査時期 (実績)	2022年 1~3月	2022年 4~6月	2022年 7~9月	2022年 10~12月	2023年 1~3月	2023年 4~6月	2023年 7~9月	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月 (見込み)
兵庫県	▲ 14.1	▲ 15.3	▲ 9.9	▲ 13.9	▲ 14.4	▲ 11.0	▲ 14.3	▲ 12.5	▲ 12.3	▲ 19.3

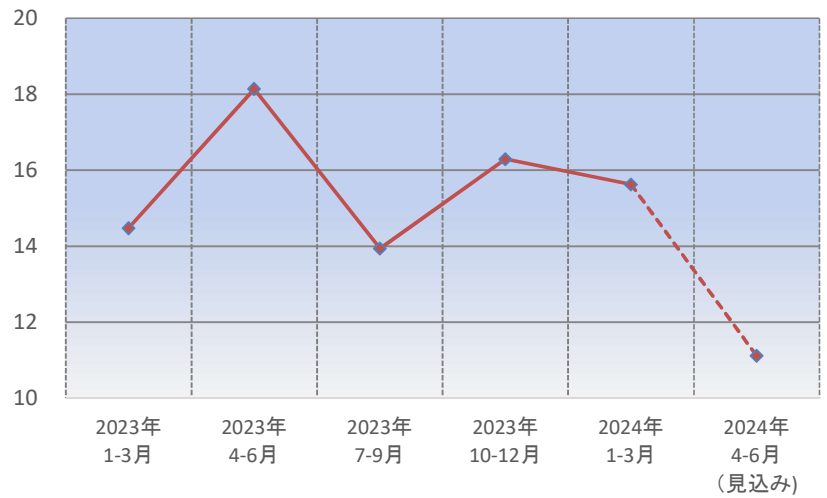
当期(1-3月)のDI値については、前期(10-12月)に比べ、「生産・売上」「採算」「資金繰り」の項目において悪化し、「借入難易感」の項目において改善しました。

次期(4-6月)のDI値については、当期(1-3月)のDI値に比べ、「生産・売上」「採算」「資金繰り」の項目において改善し、「借入難易感」の項目において悪化する見込みとなっています。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	63	18.4%
変わらないと思う	254	74.3%
弱まると思う	25	7.3%
無回答	0	0.0%
総計	342	100.0%



信用保証付要請DI(強まる-弱まる)

調査時期 (見込み)	2021年 10~12月 (1~3月)	2022年 1~3月 (4~6月)	2022年 4~6月 (7~9月)	2022年 7~9月 (10~12月)	2022年 10~12月 (1~3月)	2023年 1~3月 (4~6月)	2023年 4~6月 (7~9月)	2023年 7~9月 (10~12月)	2023年 10~12月 (1~3月)	2024年 1~3月 (4~6月)
兵庫県	3.9	4.4	6.9	16.6	14.5	18.1	13.9	16.3	15.6	11.1

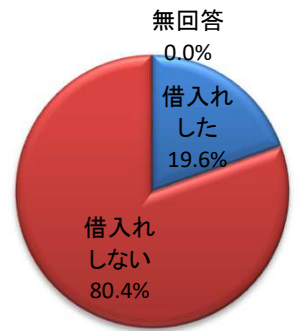
金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

Ⅲ.当期(24年1～3月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。
※手形の割引は含めません

選択肢	24年1～3月期		23年10～12月期	23年7～9月期	23年4～6月期	23年1～3月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	67	19.6%	25.6%	25.0%	20.3%	16.9%
借入れしない	275	80.4%	74.4%	75.0%	79.7%	83.1%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	342	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

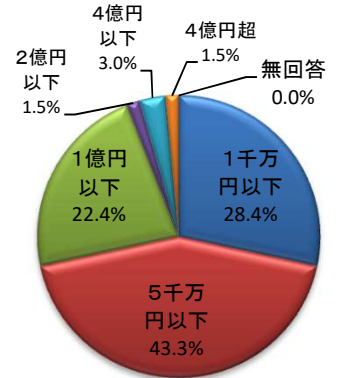
当期の借入れは、前期と比べ、6.0ポイント減少しています。



当期に借入れした総額はいくらですか。

借入れ総額	24年1～3月期		23年10～12月期	23年7～9月期	23年4～6月期	23年1～3月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	19	28.4%	36.7%	30.3%	37.3%	35.8%
5千万円以下	29	43.3%	43.3%	44.9%	37.3%	43.3%
1億円以下	15	22.4%	14.4%	16.9%	16.9%	9.0%
2億円以下	1	1.5%	1.1%	3.4%	2.4%	10.4%
4億円以下	2	3.0%	3.3%	0.0%	3.6%	0.0%
4億円超	1	1.5%	0.0%	2.2%	1.2%	1.5%
無回答	0	0.0%	1.1%	2.2%	1.2%	0.0%
総計	67	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

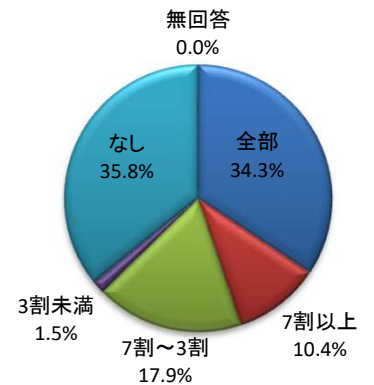
当期の借入総額は「1千万円以下」「5千万円以下」の合計が71.7%となり、構成比の大半を占めています。



当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

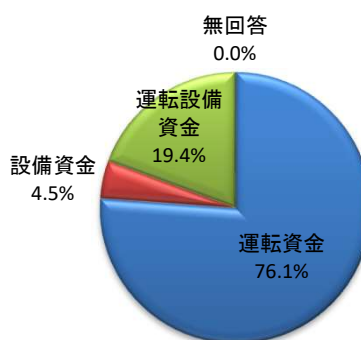
選択肢	24年1～3月期		23年10～12月期	23年7～9月期	23年4～6月期	23年1～3月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	23	34.3%	38.9%	46.1%	36.1%	46.3%
7割以上	7	10.4%	7.8%	5.6%	4.8%	7.5%
7割～3割	12	17.9%	12.2%	5.6%	13.3%	7.5%
3割未満	1	1.5%	4.4%	6.7%	6.0%	6.0%
なし	24	35.8%	36.7%	34.8%	39.8%	32.8%
無回答	0	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%
総計	67	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合は「なし」とする回答が最も多く占めているものの、「全部」とする回答が次いで多くなっています。



当期借入金の目的は何ですか。

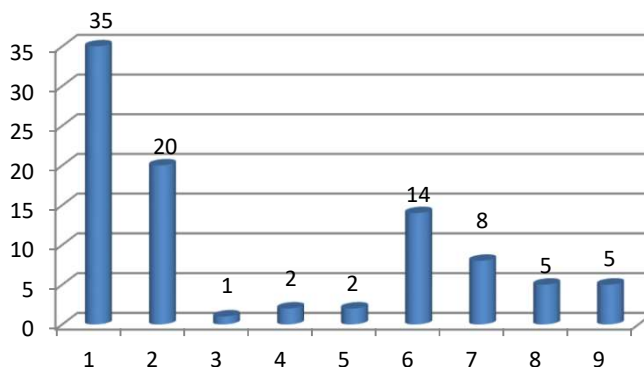
選択肢	回答数	構成比
運転資金	51	76.1%
設備資金	3	4.5%
運転設備資金	13	19.4%
無回答	0	0.0%
総計	67	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

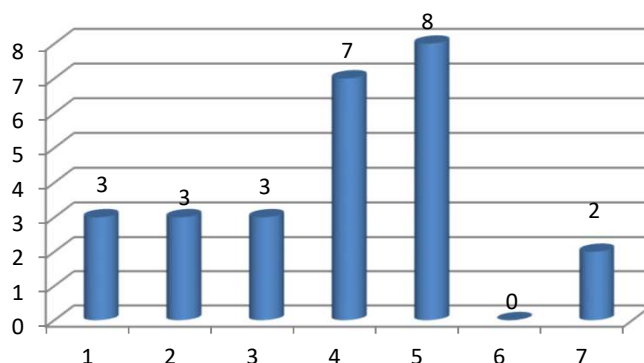
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	35
2 売上減少・赤字補填	20
3 過剰在庫対応	1
4 支払条件短縮対応	2
5 回収条件悪化対応	2
6 売上増加運転資金	14
7 在庫積み増し	8
8 季節運転資金	5
9 その他	5
総計	92



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が一番多く、次いで「売上減少・赤字補填」「売上増加運転資金」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか(複数回答)。

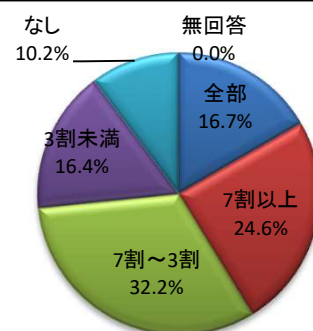
選択肢	回答数
1 新規事業	3
2 生産増強	3
3 合理化・効率化	3
4 設備老朽化に伴う入替	7
5 修理・修繕	8
6 公害防止・環境関連	0
7 その他	2
総計	26



設備資金の種類は、「修理・修繕」が一番多く、次いで「設備老朽化に伴う入替」となっています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(24年3月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

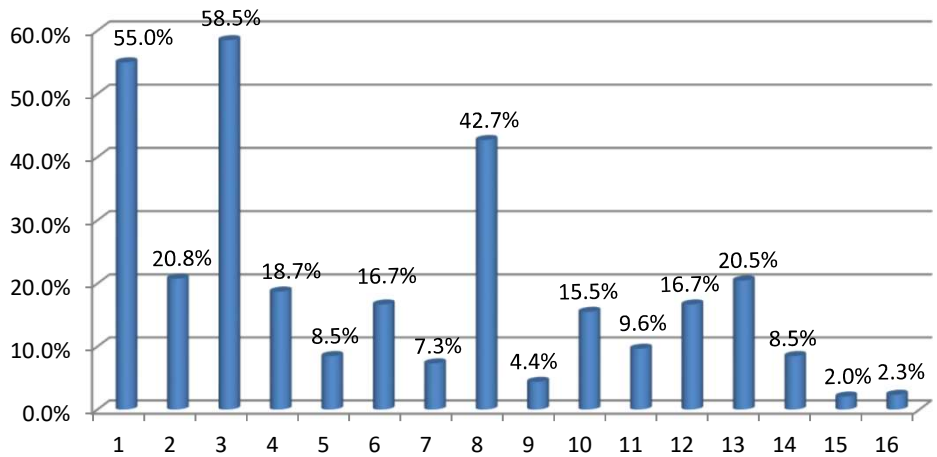
選択肢	24年1～3月期		23年10～12月期	23年7～9月期	23年4～6月期	23年1～3月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	57	16.7%	15.9%	17.4%	16.6%	17.1%
7割以上	84	24.6%	25.6%	23.3%	18.6%	19.6%
7割～3割	110	32.2%	31.0%	31.5%	34.7%	31.7%
3割未満	56	16.4%	18.8%	19.4%	20.5%	24.2%
なし	35	10.2%	8.8%	8.4%	9.5%	7.3%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	342	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「全部」「7割～3割」「なし」とする回答が増加し、「7割以上」「3割未満」とする回答が減少しました。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	188	55.0%	9 過剰在庫	15	4.4%
2 競争激化	71	20.8%	10 設備投資	53	15.5%
3 コスト高	200	58.5%	11 後継者難	33	9.6%
4 業界構造変化	64	18.7%	12 資金調達	57	16.7%
5 取引条件の悪化	29	8.5%	13 借入過多	70	20.5%
6 消費者ニーズの多様化	57	16.7%	14 為替	29	8.5%
7 技術・商品開発	25	7.3%	15 海外景気の減速	7	2.0%
8 人材・労働力の確保	146	42.7%	16 その他	8	2.3%



経営上の課題については、「コスト高」「売上・受注の減少」「人材・労働力の確保」が群を抜いて上位となっています。次いで、「競争激化」「借入過多」「業界構造変化」の順となっています。

